

徒賀西高だより

平成 20 年 5 月 16 日
編集・発行 広報研修部

— 進路特集号 —

「忠恕の心を忘れずに己の可能性へ挑戦」

学校長 梶原 彰夫



平成二十年度がスタートして、一ヶ月半が過ぎました。「歳月人を待たず」と言います。生徒諸君、今日という日をどのように過ごしていますか。三年生は大学入試センターテストまであと26日、二次試験まで28日になりました。二年生はあと600日程、一年生は本校に入学したばかりですが、次なる試練の時まで千日をきっています。それぞれの目標に向かって順調に歩を進めていますか。一年生は自分の目標をしっかりと設定し、二年生はすでに設定した目標を再確認し、三年生は高き目標に向かってひたすら迷うことなく突き進んでいることと思います。

次の三つのことは、本校の入学式で新入生に対して述べたことですが、在校生全てに当てはまることとして諸君に話をしておきます。まず第一は、自分の中に秘められている見えない自分、すぐれた自分を発見し、磨き

をかけて伸ばす努力をしてほしいということ。すなわち「未見の我を発見せよ」ということです。人には一人ひとりにそなわった個性があり、秘められた長所があります。高校三年生の中で新たな学習や体験、読書、部活動、友人との切磋琢磨、先生方との触れ合いなどを通して、自ら求め、自ら学ぶ中から自分の長所を数多く伸ばしてほしいと願っています。

第二に、確かな目標を持つて高校生活に取り組んでください。「立志は万物の根源なり」という言葉があります。立志とは志を立てること、換言すれば目標を持つこと、換言すれば目標を持つこととは生活を充実させる基盤です。生徒の皆さん、確かな目標を定め、高校生活を充実したものにしてください。そして、事をすすめるにあたっては、PDCA、すなわち、Plan(計画)、Do(実践)、Check(評価)、Action(行動)のサイクルが大切です。将来の大きな目標を見定めて、毎朝、その日になすべきことを決め(P)、その計画通りに行い(D)、うまくいったところ、そうでないところを評価(C)し、よくなかったところは明日はうまくいくように改善(A)してみるのがす。そうすることで、継続的な改善が可能になり、常に自己を高めていくことができま

す。諸君の未知の可能性を信じるが故に、この姿勢を強く求めたいと願っています。第三に、激動の二十一世紀をリードする人間となるべく、深い思考力と豊かな感性、人間性を高校時代に身につけてほしいと思います。これから日本、世界の発展は若い諸君の今後の努力にかかっている部分が大いと思います。それにはまず、世界の動向を大局的に展望し、客観的に判断・分析するための思考力が必要です。そして、時の移り変わりを直視して、自ら主体的にその中に分け入り、今何が求められているのかを肌で感じる感性も必要です。また、これからの世界では、自分を大切にすると同時に他者への気配りを忘れず、人類全体を幸福にするという視点に立ち、厳しさの中にも思いやりのある温かい心を持った人間性あふれるリーダーが必要。どうか、皆さん、新たな世界を構築していくリーダーとして必要な資質を、この佐賀西高等学校で培ってください。今年度は「熱き心(若々しい情熱)」、「寛き心(思いやり)」、「鋭き心(チャレンジ精神)」の三つの心を中心に据えて、「忠恕の心を忘れずに、己の可能性へ挑戦」というスローガンを掲げました。神様は全てのの人に平等に一日二十四時間という時間を与えています。が、人それぞれ、時間の使い

栄城の風

方々は様々です。諸君が高き目標を掲げ、その目標に向かって日々挑戦することが、諸君の限りなき可能性の追求に繋がることを期待しています。最後に坂村真民の「本気」という詩の一節を紹介します。本気になると世界が変わってくる自分が変わってくる変わってこなかったらまだ本気になってない証拠だ

暖かな日差しの中、毎年変わらぬ美しさで魅せる西高桜満開の下、新入生が入学してきた。入学式で新入生の姿を見るのは毎年楽しみである。その光景は、明るく、希望に満ちあふれ、且つ活き活きとしてはいれるが、それがただ漫然と広がっているのではなく、未知の世界への緊張感でほどよく引き締まっている。その希望を、活力を、緊張感を、よい意味で持続し、発展させながら、保ち続けることができるかどうかが、それがそのまま西高生活の充実につながる。希望が具体的な志望となり、活力が具体的な努力に変わり、また緊張感が困難を克服する強い精神力となる。そして西高生活の三年間が終了するときに、充実感を持って、栄城山脈の一員となっていくのである。栄城の気風とは、そのような充実した三年間を西高生として過ごすことにより、先輩から後輩へ脈々と受け継がれていくものである。(K)

平成20年度大学入試結果を振り返って

進路指導専事 磯 浩一



(1) 全体的な総括

平成20年度大学入試センター試験の志願者数は昨年度より約1万人減の543,385人と見られます。その内訳をみると、高卒生等の志願者数が115,337人と昨年より3,664人減少し、現役生も42,830人と昨年より6,301人減少しました。また、受験料の志願者数に対する受験率は、昨年の82.4%から80.4%ポイント上昇し、82%となりました。また、今年度の受験生は必要科目の理科の公民受験者数及び文系の科目2科目受験者数が減少したため、9科目が減少し、今年度は試験会場（監督者の指示で、試験対象者が過去の多の1、2試験を受けた人、最も多かった2005年の50人を大幅に超え104人となりました。各教科につきましては、昨年は受験生の多い科目は、ほとんど平均点が6割を上回り、全体的に高い平均点となり、昨年は平均点が22科目中15科目の平均点が22科目中並みの難度に戻りました。

(2) 国公立大学

国公立大学の募集定員は9,864人に対する志願者は48,777人で、志願倍率は4.87倍と、昨年より1.15倍増です。これは、センター試験導入以来最も低い4.85倍となつた昨年に比べて、僅かながらアップした4.88倍となり、受験の平均点上昇による受験生の強気の出陣であると考えられます。そして、それが旧帝大を中心とした志願者数の増加にも表れています。特に東京大学では前期日程の志願者数が51人増加し、19,996人で12年ぶりに志願者数が1万人を超えました。ただ、九州大学では昨年大幅に志願者数を伸ばした経済学部と理学部3科目数が大きく減少しました。また、系統別の志願状況を見ていきますと、昨年は、景気回復が顕著であるという社会的有利な社会科系への就職に有利な増加が目立ちました。今年度はアメリカ株への下落など、今般の経済動向が、農水産系の人気回復も少へ転じてきました。なお、理工系、農水産系の人気回復も本格化してきています。

(3) 私立大学

今年度は受験生の多い科目で平均点のアップが見られ、多くの受験生が共通して受験する5教科6科目型の平均点が、昨年より19ポイントアップの520点と大幅に上昇しました。また、地理系受験者の多い数学I・A、理系受験者の多い数学I・A、地理系と理系の平均点に大きな差が生じました。

(4) 本学校における総括

本校のセンター試験志願率は100%で、5(6)教科7科目型の平均点(900点満点)は650.2点で、昨年よりも6.6ポイントアップしました。国公立大学の結果としては、東京大学5名(現役4名、浪人1名)、京都大学3名(現役2名、浪人1名)、大阪大学6名(現役3名、浪人3名)、九州大学38名(現役30名、浪人8名)を数め、合計30名、浪人8名を数め、合計38名を出すことができました。全国各大学の現役合格者数は、178名でした。また、国立大学の医学部医学科に16名(現役7名、浪人9名)、早稲田大学27名、慶応大学11名、東京藝術大学1名、各名、浪人を含む)と、各方面で健闘しました。4年制大学に進学した者の地域別進学状況は、九州地区26.5%、関東地区18.2%、関西地区16.4%、その他4.9%となっています。

表1 平成20年センター試験の平均点

科目	全 国			本 校		
	20年	19年	前年差	20年	19年	前年差
国 語	121.6	110.0	11.6	146.0	138.5	7.5
世界史B	59.0	67.8	-8.8	67.9	84.3	-16.4
日本史B	64.3	67.0	-2.7	73.7	75.5	-1.8
地 理 B	66.4	58.4	8.0	72.2	68.9	3.3
現代社会	60.6	50.3	10.3	67.7	54.4	13.3
数学I・A	66.3	54.1	12.2	76.0	64.2	11.8
数学II・B	51.0	48.9	2.1	57.1	57.4	-0.3
物 理 I	64.6	64.4	0.2	75.5	78.0	-2.5
化 学 I	64.2	61.4	2.8	71.6	71.9	-0.3
地 学 I	59.7	62.4	-2.7	71.0	74.0	-3.0
生 物 I	57.6	67.0	-9.4	66.5	75.5	-9.0
英語筆記	125.3	131.1	-5.8	149.7	157.7	-8.0
リスニング	29.5	32.5	-3.0	35.4	38.9	-3.5

表2 国公立大学 入試日程別志願状況

区 分	全 国			本校(現役・延べ人数)		
	募集人員	志願者数	倍率	受験者数	合格者数	合格率
全 体	99,864	487,777	4.9	387	178	46.0
国 立 大	80,966	366,121	4.5	351	160	45.6
公 立 大	18,898	121,656	6.4	36	18	50.0
前期日程	77,170	252,678	3.3	262	128	48.9
後期日程	20,755	208,419	10.0	111	46	41.8
中期日程	1,939	26,680	13.8	1	1	100
推 薦 等				13	3	23.1

参考 平成20年国公立大学の学部系統別志願状況

学部系統別	志願者指数 (19年=100)
法	101
経済・経営・商	103
文・教育・教養	101
社会・社会福祉	89
国際・国際関係	95
外国語	96
理	101
工	105
農・水畜産・獣医	102
医	101
歯	89
薬	103
医療・看護	106
教員養成	99
家政・生活科学	92
芸術	94
体育	102
全 体	100

表3 本校の主な大学合格者数年度別一覽表

大学	年度	20年			19年			18年			17年			16年		
		現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
筑波大学	波	3		3	2		2	2	4	4		4	3	1	4	
東京工業大学	京工	4	1	5	2	3	5	3	1	4	5	2	7	6	1	7
一橋大学	業橋			0			0			0	2		2		1	1
東京外国語大学	京外語			0			0			0	1		1	1		1
お茶の水女子大学	茶の水立			0	2		2			0	3		3	3	1	4
横浜国立大学	横国			0		1	1			0			0			0
名古屋大学	名大	1		1	1		1	3	1	4			0	1	1	2
京都大学	京大	2	1	3	5	2	7	1	2	3	2	1	3		1	1
大阪外国語大学	阪外語	3	3	6	2	1	3	2		2			0	2	1	3
神戸大学	神大			0	3		3	1		1			0	1	1	2
岡山大学	岡大	3		3	1		1		1	1			0	1		1
広島大学	広大	8	2	10	2	1	3	3		3	6		6	3	3	6
山口大学	山大			0	17	1	18	21	2	23	8	1	9	7	2	9
福岡教育大学	福教	3		3	2	4	6	7	1	8	7	2	9	4		4
九州工業大学	九州工	30	8	38	33	5	38	36	14	50	37	9	46	50	10	60
九州大学	九州	2	2	4	2		2	2	3	5	2		2	3	4	7
佐賀大学	佐大	36	8	44	35	6	41	33	5	38	28	3	31	35	6	41
うち医学	うち医	5	5	10	1	3	4	3	2	5	1	4	5	6	2	8
長崎大学	長大	17	1	18	11	3	14	16	2	18	12	1	13	9	5	14
熊本大学	熊大	25	1	26	31	1	32	27	2	29	26	3	29	34	4	38
鹿兒島大学	鹿大	6	2	8	1	3	4	2	1	3	4	2	6	5	5	10
自治医科大学	自治医			0			0			1			0			0
早稲田大学	早稲	12	15	27	18	5	23	8	11	19	12	6	18	15	13	29
慶応義塾大学	慶義	4	7	11	12	3	15	3	5	8	6	3	9	5	3	8
上智大学	上智	1		1	1		1		1	1	4		4	2	1	3
明治大学	明大			0	13	4	17	4	5	9	5	2	7	5	11	16
中央大学	中大	3	5	8	12	7	19	7	9	16	10	10	20	3	10	13
東京理科大学	京理	9	4	13	10	7	17	9	7	16	7	1	8	6	10	16
同志社大学	同志	3	3	6	14	7	21	12	4	16	8	8	16	13	6	19
立命館大学	立命	25	8	33	30	11	41	20	8	28	26	21	47	8	12	20
関西学院大学	関西学	4		4	13	2	15	3	2	5	3	3	6	8	6	14
西南学院大学	西南学	50	1	51	61	7	68	36	10	46	36	5	41	18	9	27
福岡大学	福大	47	10	57	56	4	60	52	17	69	48	21	69	46	28	74

▼第1志望大学調査結果(3年)

北海道大学	1	東京芸術大学	1	広島大学	27	宮崎大学	1
筑波大学	6	横浜国立大学	1	九州大学	131	琉球大学	1
お茶の水女子大学	1	千葉大学	1	九州歯科大学	1	その他公立大学	4
一橋大学	2	名古屋大学	2	福岡教育大学	3	早稲田大学	4
東京大学	8	京都大学	7	佐賀大学	11	明治大学	2
東京医科歯科大学	1	大阪大学	7	長崎大学	7	その他私立大学	7
東京外国語大学	1	大阪府立大学	1	大分大学	1	専門学校・未定	3
東京学芸大学	1	神戸大学	8	熊本大学	54	合計	306

「生きること、学ぶこと」

3年学年主任 川原 隆夫



「学校で、いろいろなことを勉強するが、その何パーセントが、将来の自分の職業や人生に役立つのか。」これまで私はこの質問に、「知識も大切だが、学ぶ姿勢、努力することがもつと大切なんだ。」と、答えていました。

先日、広中平祐氏の「生きること、学ぶこと」(集英社文庫)を読みました。数学者のノーベル賞ともいえるその著書の中に次のように書いておられます。「人間の脳は、記憶したことのほんのわずかしかり出せないようにできている。それなのに、なぜ人は苦勞して学び、知識を得ようとするのか。私はそれに対して、「知恵」を身につけるためだ、と答えることにしている。学ぶという中には知恵という、目には見えないが生きていく上に非常に大切なものが作られて行くと思う

のである。この知恵が作られる限り、学んだことを忘れることは人間の非とならないのである。」

氏はそこで、「知恵」についても言及されています。「知恵」には、「広さ」、「深さ」、「強さ」という3つの側面があるとのこと。私たちが「忘れた」といっている現象は、記憶を「失くす」のではなく、「取り出せない」状態を指しており、少しの間(思い出す手間)をかけたければ、物事の理解を容易にする。このことを氏は「知恵の広さ」と呼んでいます。また同時に、深くものを考える力を「知恵の深さ」、物事の決断を促す力を「知恵の強さ」と定義されています。いずれも私たちが「生きていく」には大切なものです。それ故「知恵」を獲得するため「学ぶこと」は必要不可欠といえます。日常行っている君たちの勉強もその延長上にあります。

では、学ぶには何が大切で、どうすればいいのか。その答えは、「謙虚に努力すること」だと、私は考えています。君たちは、それぞれ自分だけにしかない素晴らしい天分に

恵まれています。しかし、その才能が芽を吹き、花を咲かせるかは、君たちの努力によります。「玉磨かざれば光なし」ということわざがありますが、まさにそのとおり。

また氏は、同著の中で、「人間は親を選択することはできないが、友を選ぶ自由は認められている」、「常に身近なところに尊敬できる人物を探し求め、その人から何かを学び取ろうとしてきた」と書かれています。具体的に「は、むらつ気があり、あまり努力することをしなかった氏が、高校で努力家の友人を得て、こつこつ努力する大切さを知り、生活が一変した経験が書かれています」。

君たちの周りには、たくさんの尊敬できる仲間がいるではないですか。それがこの西高の最もよいところだと私は思っています。「彼らに学び、互いに切磋琢磨し、ともに伸びていく」、西高生活最後の1年がそういう年になれば、君たちの夢も実現することでしょう。

君たちに期待する

3年2組 園田喜久子

始業式で校長先生も紹介された坂村真民の詩で、好きなものがあります。「本気になると自分が変わって行く世界がかわつたらまだ本気になっていない証だ。本気な恋。本気な仕事。あな人間一度こいつをつかまんことには」これを読むたびに頑張らなくてはと思います。お互い本気な一年にしましょう。

3年3組 相賀 照文

3年生になって最初のホームルームでみんなの前に立つたとき、みんなの気合を肌で感じました。表情といい、目つきといい、これまでとは全然違っていました。きっとこの1年の決意の表れなのだろうと思います。その気持ちを1年間心の中に持ち続けよう。絶対に忘れるなよ。その目標が本気なら、本気で努力しよう。西高生活最後の1年が悔いのない、充実した1年になるように、お互いに頑張ろう。そして最後は嬉し涙を流しましょう。

3年4組 松本 晶子

「この道を行けば、どうなるのか危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし」踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わずにゆげゆげばわかるさ」という言葉があります。自分の人生は自分の足で一歩一歩進んで

3年5組 北川 宏武

早いもので、もう最終学年になってしまいましたね。遠く感じていた「高校総体」「西高祭」そして「大学受験」を身近に感じはじめているのではないかと思います。もう、あーだこうだ言ってる暇などありません。今まで出来なかったこと、努力しなかったことなどを反省・分析し、これからなすべき事、達成すべきことに向けて全力で取り組んでいきましょう。具体的に計画を立て着実に1つ1つを乗り越えていく。その過程の中で、学問や部活動の難しさや奥深さを知るとともに、面白みや達成感、そして自信を感じて下さい。君たちの更なる成長を期待しています。潔い心意気と根性をもって頑張りましょう。

3年6組 土橋 浩幸

久しぶりに3年担任をさせていただくことになりました。これまで何人も卒業生を見ていて、進路実現を果たした生徒は早い時期から目標を持って十分な学習時間を確保していました。高校生活の集大成になる今年、勉強に部活に西高祭、何に対しても真摯に取り組む、自分が実現したい夢に向かって日々の努力を続けていくことです。努力の先には合格はありませんよ。ともし頑張る、春には笑顔で握手をしましょう!

「桜の花のように」

2年学年主任 笹谷留里子



2年生に進級して1ヶ月が経ちました。1年生のときほどの不安はないものの、やはり新しいクラスメート、新しい教室、新しい担当の先生と新しもの尽くめのなか、「心機一転がんばろう」という気持ちに溢れていることと思います。また学習面でも、それぞれが選択した文系・理系の特徴を活かした教科も加わり、大学受験や将来の自分というものイメージがより強くなってきたのではないのでしょうか。年度当初の進路希望調査に書いてもらったように、短期・中期・長期の目標を自ら定め、日々を過ごしていただく。そして1年後どのような人間として、最終学年である3年生を迎えるかをイメージしてください。

まず。2年生という学年は、学校の中核を担う学年でもあり、また生徒会や部活動においても責任ある立場に置かれます。「定められた時間に定時」「定めた目標に定時」「必ず到達する」「必達」することが必要となつてきます。例えば「遅刻をしない」、「課題を期日までに提出する」といったことから「4月に自分で立てた目標を達成する」ことなど生活の中のいろいろな場面でこのことが要求されます。しかしそれはいつの日か社会へ出て行くあなたたちにとって重要な訓練でもあるのです。この1年間、単に学習面だけでなく、生活のすべてにおいてこの「定時」「定時」「必達」を考え、活かしていただく。

学年集会でも話をしました。西高生として単に学力を向上させるだけではなく、「人間力」を高めていくことを今年の目標にしてほしいと考えています。大岡信の『言葉の力』にてでてる桜の話に例えたように、桜の花は桜の花だけが美しいピンク色になつて咲き誇るのではなく、木の幹や、枝の内部がすみずみまでピンク色に変わり、その

▼第1志望大学調査結果(2年)

北海道大学	4	九州大学	160
東北大学	1	九州工業大学	2
筑波大学	1	佐賀大学	23
東京大学	16	長崎大学	7
東京工業大学	3	熊本大学	18
一橋大学	5	大分大学	1
お茶の水女子大学	3	宮崎大学	1
東京外国語大学	4	鹿児島大学	2
東京芸術大学	2	兵庫県立大学	1
東京海洋大学	1	神戸市立外国語大学	1
山梨大学	1	長崎県立大学	1
信州大学	1	早稲田大学	1
名古屋大学	2	日本女子大学	1
京都大学	14	同志社大学	1
大阪大学	10	明治大学	1
大阪教育大学	1	立教大学	1
神戸大学	4	海上保安大学校	1
広島大学	23	未合	5
山口大	1	計	325

3年7組 西村 理生
 いよいよ3年生、進路希望を実現する年になりました。もう受験を意識した本気モードの学習ができていますか。まだできていない人は、今すぐ始めよう。大学受験は、早く始めたものが勝ちます。努力は必ず実ります。勉強してもなかなか成績が伸びなかったり、プレッシャーに押し潰されそうになったりする時期が来るかもしれない。受験という険しい山を共に乗り越え、3月に笑顔で卒業できるように頑張りましょう。

3年8組 久保山 文典
 遂に、3年生。最初のホームでも言いましたが、本当に面白いのはここから。入学以来、時には嫌々ながら、時には追われるようにしてやってきた勉強だったかもしれない。そうやって苦労して得た知識も、まだ各単元の枠の中で、ちんまりとしていて、本当の輝きを見せてはいないかもしれない。しかし、3年生のこれからの勉強を通して、それらは単元の枠を越え、教科の枠を越えて結びつき、本当の輝きを放つことになるでしょう。受験、それは、学問の喜びと出会うための大切な通過儀礼なのです。自分のこととして学ぶ。それをしっかりと体験していきましょう。

「謙虚に学ぼう」

1年学年主任 平川 聡



この「西高だより」が発行されている頃には、1年生の皆さんは入学から1ヵ月ほどが経ち、初々しさの中にも西高生としての確かな自覚が芽生え始めているのではないかと思います。

さて、皆さんが入学した佐賀西高校は、創立百三十余年を数える歴史と伝統を持ち、数多くの有能な人材を輩出してきた輝かしい実績を持つ、日本でも屈指の学校です。その最新の一ページに、皆さんも歴史を刻もうとしているわけです。そう考えると、身の引き締まる思いがするかもしれませんが、西高生としての誇りと自覚は持ちつつも、萎縮することなく、伸び伸びと高校生活を送ってほしいと思います。

ところで、西高は「質実剛健」と「鍛身養志」を校是として掲げています。「質実剛健」の意味を引くと、「服装や言葉などを飾らず、生活態度がまじめで心身共にたくましい様子」とあります。また、「鍛身養志」とは、「身を鍛え志を高く掲げよ」という意味にとれます。どちらも、ややストイックなイメージを受けるかもしれませんが、西高生という多感な時期、さまざまなことに影響を受けやすく、とすれば易きに流されがちになります。そんな中にあっても、軸足をブレさず、自己を深く見つめ、心身を鍛えんと共に、日本や世界全体を視野に入れて自分が何をなすべきかを判断し行動できる、そんな人間を育成したいという願いが込められているのです。特に、「鍛身養志」は、他にほとんど例を見ない校是です。まさに西高独自のものといえるでしょう。

さて、このような西高に入学した皆さんを直接指導するにあたって、わたしたち担任団は、次のような学年目標を掲げました。それは、「謙虚に学び、ひたむきに努力する」です。一見すると、単に徳目を掲げただけのように感じるかもしれませんが、これは、私たちがここ数年、西高生の入学から卒業までのプロセスに立ち会ってみて、自分の進路目標を達成できた生徒と、できなかった生徒は一体何が違っていたのかを考えて出した一つの結論なのです。西高に入学した時点で、皆さんは一定レベル以上の理解力を持つています。なのに、そのような違いが出てしまうのは何故なのか。私たちは、その原因の一つが「学びに対する謙虚さ」と「ひたむきに努力し続ける姿勢」の違いにあるのではないかと考えたのです。中学校までと違って、高



校では授業の質と量が格段に高まります。特に授業の進度は、目をむく速さかもしれません。そのような中、中学校までの成功体験を引きずり、同じやり方で何とかなるだろうとタカをくくっていると、痛い目に遭うことが多いのです。中学校までのやり方は一旦リセットし、高校の授業に順応した学習方法を確立する必要があります。その基本的

▼1年4月学力診断テスト状況(累計) (平成20年4月10日実施)

年度	20年度	19年度	18年度
県順位			
1～10位	8	10	4
～20	14	15	9
～30	21	25	17
～40	30	30	22
～50	39	33	28
～100	71	68	53
～150	96	94	79
～200	116	113	95
～250	153	141	119
～300	167	156	135
～350	181	170	161
～400	199	189	172
～450	213	201	186
～500	226	221	196
～1000	298	289	279
校内受験者	318	324	315
県下受験者	5,829	6,210	6,431
平均偏差値			
国	62	62	61
英	64	66	64
数	65	63	64
総合	65	65	65

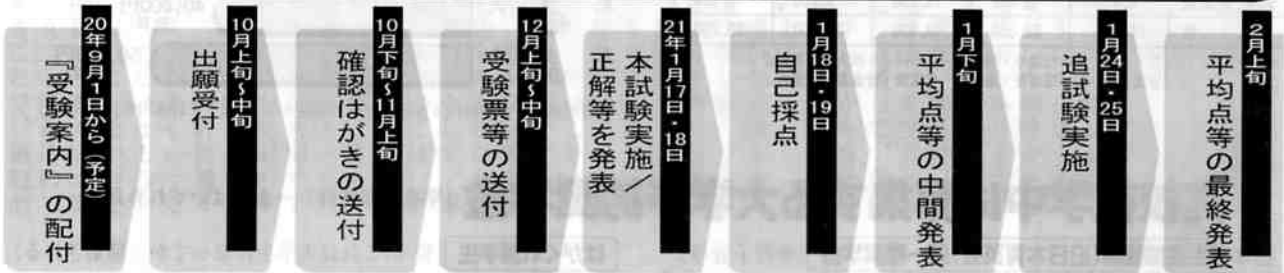
な心の持ち方が「謙虚に学び、ひたむきに努力する」姿勢なのです。もちろん、なかなか一朝一夕になれるものではありませんが、そうあらうと意識することが重要なのです。皆さんの進路実現に向けて、担任団一同、精一杯のサポートをするつもりですので、共に頑張ります。

平成20年度 模試日程一覧表

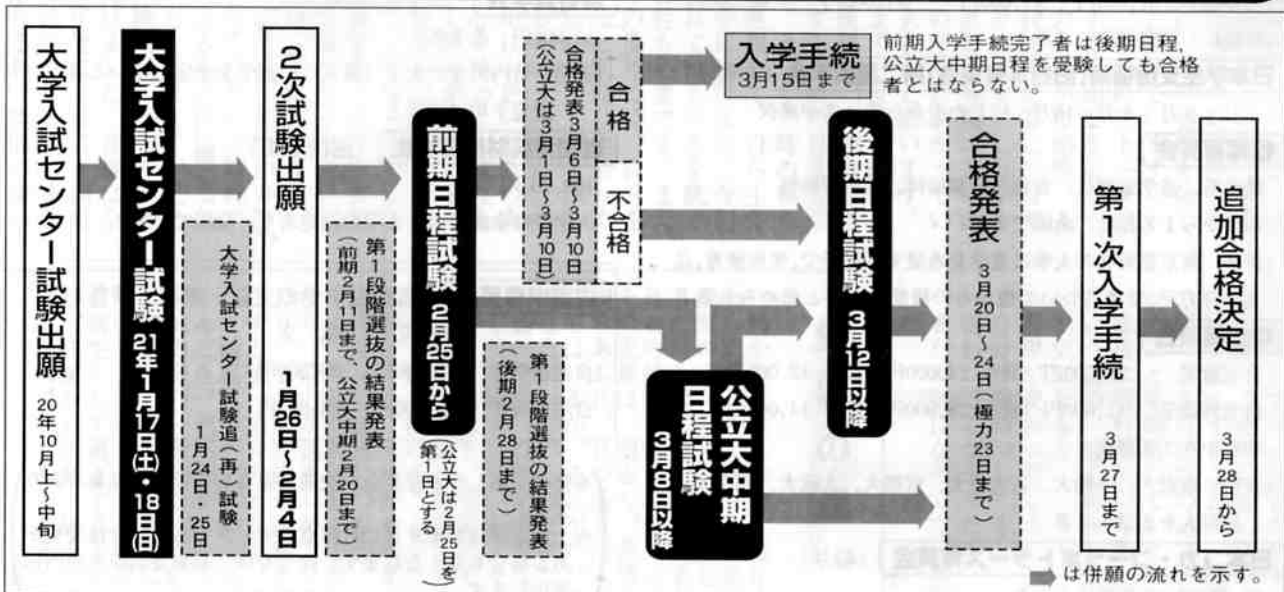
月	1 年	2 年	3 年
4	学力診断テスト (10日)		
5			全国模試 (10日)
6	期末考査 (23~26日)	県下一斉模試 (14日) 期末考査 (23~26日)	県下一斉模試 (14・15日) 全国模試 (8日) <希望者> 期末考査 (23~26日)
7	全国模試 (12日)	全国模試 (12日)	全国模試 (12・13日) 小論文模試 (下旬)
8	県下一斉模試 (30日)	全国模試 (2日) 県下一斉模試 (30日)	合同模試 (9・10日) <希望者> 県下一斉模試 (30・31日)
9	小論文テスト (下旬)	課題テスト (17日) 小論文テスト (下旬)	全国模試 (13・14日) 西高模試 (24・25日)
10	全国模試 (4日) 中間考査 (14~17日)	全国模試 (4日) 中間考査 (14~17日)	最終考査 (14~17日) 全国模試 (19日) 全国模試 (25・26日)
11	全国模試 (1日) 期末考査 (27~12/2日)	全国模試 (1・2日) 期末考査 (27~12/2日)	全国模試 (1・2日) 県下一斉模試 (8・9日) センタープレ (29・30日) センタープレ (6・7日) センターファイナル (27・28日)
12			大学入試センター試験 (17・18日)
1	県下一斉模試 (10日) 全国模試 (17日)	県下一斉模試 (10・11日) 全国模試 (17・18日)	
2	小論文テスト (上旬) 全国模試 (7日) <希望者> 学年末考査 (19~24日) 全国模試 (28日) <希望者>	小論文テスト (上旬) 合同模試 (7日) <希望者> 学年末考査 (19~24日) 全国模試 (28日) <希望者>	国公立大学前期日程試験 (25日)
3			国公立大学中期日程試験 (8日) 国公立大学後期日程試験 (12日)

* () 内の数字は実施日。* 上記以外にも各学年において小論文添削・小論文講座を適宜実施する予定です。

平成21年センター試験の主なスケジュール



平成21年国公立大入試の主なスケジュール



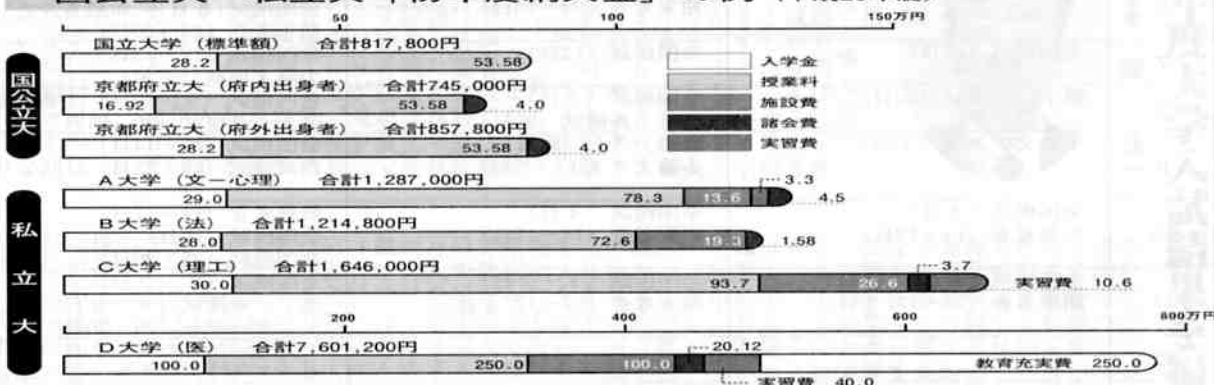
資料提供：蜚雪時代4月臨時増刊「全国大学 学部・学科案内号」(旺文社)

大学学費

国立大学費は文科省標準額に準拠、公立大は“地元出身者の優遇制度”あり

私立大の初年度納入金は文科系121万円、理科系161万円(全国平均)

国公立大・私立大「初年度納入金」の例 (平成20年度)



自宅生・自宅外生(下宿生)「1か月の平均生活費」

「自宅生」の場合 「自宅外生」(下宿生)の場合 (首都圏・大阪・九州)

	全国平均	全国平均	首都圏	大阪	九州
収入合計	64,550	131,580	147,720	130,510	114,620
支出合計	58,790	126,060	143,730	122,250	109,160
食費	11,950	25,090	27,160	24,420	21,840
住居費	180	55,920	66,800	52,470	47,350
交通費	10,080	3,230	4,410	3,380	2,410
教養・娯楽費	8,400	9,480	10,730	9,230	8,320
その他	28,160	32,330	34,620	32,750	29,250

*単位/円。①「収入合計」には仕送り・奨学金・アルバイト収入などを含む
②「支出合計」には書籍費・電話代・日常費・貯金などを含む。

国公・私立大「受験料」(平成20年度の例)

センター試験 (3教科以上受験)	18,000円	(成績開示希望者は18,800円)
センター試験 (2教科以上受験)	12,000円	(成績開示希望者は12,800円)
国立大 (2次試験)	17,000円	
公立大 (2次試験)	17,000円~18,000円	
私立大 (文・理系)	35,000円	(概算)
私立大 (歯)	40,000円	(概算)
私立大 (医)	50,000円	(概算)

資料提供: 豪雪時代4月臨時増刊「全国大学 学部・学科案内号」(旺文社)

高校在学中に募集する大学予約奨学金 (平成19年度分) -金額はいずれも月額-

日本学生支援機構(旧日本育英会)第一種奨学金 (無利子貸与)

	国公立	私立	国公立短大等	私立短大等
自宅通学	45,000円	54,000円	45,000円	53,000円
自宅外通学	51,000円	64,000円	51,000円	60,000円

(資格) 評定平均 3.5以上

日本学生支援機構(旧日本育英会)第二種奨学金 (有利子)

3万・5万・8万・10万・12万の中から申込者が選択

松尾育英会

授業料、通学定期代、食費の全額給付、学生寮無料
本校から1名程度、全国で7名
(資格) 東京都所在の大学に進学を希望する男子で、学術優秀、品行方正、学費について他からの援助を必要と認められる者。

中山報恩会

自宅通学 36,000円 (貸与 24,000円、給与 12,000円)
自宅外通学 42,000円 (貸与 28,000円、給与 14,000円)
本校から2名程度

(資格) 東京大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大、神戸大を志望する者。

日本コカ・コーラボトラーズ育英会 (給与)

15,000円 佐賀県より1名

はがくれ奨学生 (貸与:これは大学生になってから募集される)

年額 100,000円 大学を卒業したときには返還を免除
(資格) 関西に所在する大学に在学している優秀な学生。

清香奨学会

30,000円 若干名
(資格) 県内出身で大学(短大)に進学を予定している者
評定平均 4.0以上

岩国育英財団奨学生 (返済不要)

100,000円
入学一時金30万円、大学の指定あり、全国で14名

佐賀県育英会 (高校在学中の支給・無利子貸与)

	国公立	私立
自宅通学	18,000円	30,000円
自宅外通学	23,000円	35,000円

(※他に、あしなが育英会、交通遺児育英会などの募集もあります。
※上記は平成20年4月12日時点のデータであり、今後変更がある場合も考えられます。詳しくは、募集要項等を校内に掲示します。